

「職域におけるがん検診に関するワーキンググループ」開催要綱

1. 趣旨

国民生活基礎調査（平成 25 年）では、がん検診を受けた者の 40～70%程度が職域におけるがん検診を受けており、職域におけるがん検診は我が国のがん対策において、受診機会を提供する重要な役割を担っている。また、平成 28 年 11 月に「がん検診のあり方に関する検討会」における議論をとりまとめた「がん検診のあり方に関する検討会における議論の整理」においては、「職域におけるがん検診を効果的に行うためには、「職域におけるがん検診に対するガイドライン」を、職域におけるがん検診関係者の意見を踏まえつつ策定し、保険者や事業主はがん検診を任意で実施する際に、これを参考とすることが望ましい。」とされている。

これらを受けて、職域におけるがん検診に関するガイドライン等について検討するため、「職域におけるがん検診に関するワーキンググループ」を設置し、ここでの議論を検討会に報告することとする。

2. 検討事項

- (1) 職域におけるがん検診に関するガイドラインについて
- (2) その他

3. その他

- (1) 本ワーキンググループは健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本ワーキンググループには、構成員の互選により座長をおき、ワーキンググループを統括する。
- (3) 本ワーキンググループには、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本ワーキンググループの庶務は、厚生労働省健康局がん・疾病対策課が行う。
- (5) この要綱に定めるもののほか、本ワーキンググループの開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。
- (6) ワーキンググループで得られた成果は、「がん検診のあり方に関する検討会」に報告する。

「職域におけるがん検診に関するワーキンググループ」構成員名簿

大内 憲明	国立大学法人東北大学 客員教授・名誉教授 登米市病院事業管理者
小林 信	全国中小企業団体中央会 事務局次長
小松原 祐介	健康保険組合連合会 保健部長
祖父江 友孝	国立大学法人大阪大学医学系研究科環境医学 教授
立道 昌幸	東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授
中川 恵一	国立大学法人東京大学医学部附属病院放射線科 准教授
那須 繁	特定非営利活動法人日本人間ドック健診協会 理事長
羽鳥 裕	公益社団法人日本医師会 常任理事
福田 崇典	公益社団法人全国労働衛生団体連合会 副会長
松下 敏幸	全国健康保険協会 保健部 次長
松田 一夫	公益財団法人福井県健康管理協会 副理事長
吉住 正男	日本労働組合総連合会 雇用対策局長

(五十音順・敬称略)